

【そなえる防災伊丹】 vol.22

(2025年1月17日配信)

～阪神・淡路大震災から30年を迎えて～

本市も甚大な被害を受けた阪神・淡路大震災から30年が経過しました。震災の記憶が風化していくなか、既知のとおり南海トラフ巨大地震の発生も危惧されています。つい先日には、今後30年以内の発生確率が70～80%から「80%程度」に引き上げられました。巨大地震はいつ発生してもおかしくないため、改めて災害への備えを見直しましょう。

(↓地震のときの初動対応の参考表)

揺れている間	身を守る (特に頭！)	・机の下などに隠れる ・倒れそうな家具や窓から離れる 
揺れが収まったら	火元の確認 (完了したらチェック！)	□使用中のコンロ等をオフに □ガスの元栓を閉める 
	ブレーカーの確認 (完了したらチェック！)	□ブレーカーをオフに 
	出口の確保	・窓やドアを開ける 
	情報の入手	・テレビやスマホで確認 ・デマ情報があることも頭に入れる